

イオン化の実践 -約600の化合物で評価したMSイオン源-

Practice Ionization in Mass Spectrometry

杉村 夏彦 先生 Natsuhiko SUGIMURA

早稲田大学 物性計測センターラボ

【ご研究・講演内容】

イオン化法にはそれぞれ性格がある，というのはなんとなく理解されていることではないでしょうか。しかし，それを実感するには複数のイオン源で多数の試料を測り比べなくてはなりません。

本演題では約600の化合物をもちいてDART, ESI, FABの試料適応性，そしてESIの付加イオン(H⁺/Na⁺)選択性について懐古的(retrospective)に評価していきます。多種多様そして大量の試料を評価する分析センターならではの本知見が皆様のご参考となれば幸いです。

【プロフィール、BMSに期待することなど】

初めて参加させていただきます。大変楽しみにしております。

私の所属する施設は分析センターとして活動しています。質量分析のみならずNMR・熱分析・計算化学などの分析サービスを展開しています。なにかありましたらご相談ください。